

校內食堂

針灸

黒い霧が風に散つていよいよ木枯しの師走、思い出多い一九五九年あつと一週間で終ります。それにしても、世界は雪どけとか落着くとしてゐるのに、小島我々の島国の中では荒れに荒れ、尊厳なく、先生までが、やれやれとやれと争つた一年中をそれこそ走つた。おかげで生きた社芸科が走りました。▼ところであの有給休暇つてヤツ、ロード・ジョーシンのシンセイなるケリだつたから、とかやう言うりだつたやせんがネ、ああおビンと使われちゃ「授業料払ふ」にせよと自習時間に暴れ廻つて理由なき反抗の一つもしたくなつたというもの。校員がよくひかへ思つていたらまた貼り出された保健委員会の清掃成績表、人よんで「保健屋のデザイン」あれこれ使つて〇や×と美しどこでも肝心の教室の方はその割にどうもネ。あの評定はごまか公正なんでしょうか、美しき調査官様。ミンナツツ云つてます勤務評定を反対するセンセの気持ちもわからず、ハイ。▼映画鑑賞、レ・ミゼラブル、で人気があつたにひきかえ、今回の「炎上」はそれこそバカンスネエと云つてゐる。画面が暗くて、いゝわは黒い炎上。レ・ミゼラブル、やっぱり映画は映画館で見ものです。タダにしろ、白くならぬ。▼映画といへばサイラフーム、サイラー君をとりまく十二人の美女の映画がはやってますが、本校も一月には揃つてスキに神鶴アルプスへ。サイフ君が沢生まれることでしょ、それはいけと、滑りぐせがついて大切な試験にまで滑らんように御用心。▼打つて就つて喋つてはじめて、本年度活躍のクラブはこれの四つ。つまり野球部蹴球部弁論部珠算部。他のクラブも大いにやつて下さい。▼明日はクリスマス、誰です？成績が悪いからクールのシマミだなんて顔をしかめてるのはいです。すよ新年になつてはオステイバだから。もちろんアナタもネ。

高まる父兄の関心

過半数が有給休暇十争を支持

戦後の教育を
基本的に支持

日教組にも
つと品位を

勤評の困難さ
認む

勤務評定の問題は最もはやかな
焦点をなしているが、これに対す
る保護者の反応は、支持反対伯仲
といったところ（表Ⅵ）一応動評
の技術的困難さを殆どが認めてつ
も、「一般職なみに実施せよ」が
39パーセントも（イ・ハ）、「実
施反対」が40パーセントとなつて
いるし、公正さについても、「公
正に評定できないことはない」が
39パーセント「公正に評定できる
きて本校の先生方による組合はど
主義を組合が果して守っているか
どうかについては（表Ⅶ②）、「一
守っている」と認める人は少く12
パーセント、かといつて共産主義
に操られていたときめつげる人は
更に少く7パーセントで、大半は
「民主主義を守ろうとして失敗し
ている」と考えている。

本校の組合は穩健

A 教育と政治

表VII 教育の政治的独立性について

	回 答 事 項	数	%
イ	独立するべきだがそれを崩しているのは政府	105	17
ロ	独立するべきだがそれを崩しているのは日教組	31	5
ハ	独立するべきだが崩している責任は政府日教組の双方	354	56
ニ	独立する必要はない	28	4
ホ	わからない 又は無関心	60	9
ヘ	その他の意見	23	4
	無記入又は無効	29	5

B 日教組とその斗争

(1)	教員組合の成立について		
イ	聖職者たる教員が組合を作るのはもつてのほか	54	9
ロ	労働者たる以上教員も組合を作るのは当然	428	68
ハ	わからない 又は無関心	46	7
ニ	その 他 の 意 見	66	11
	無 記 入 又 は 無 効	36	6
(2)	日教組の現状について		
イ	日教組は民主主義を守っている	75	12
ロ	日教組は共産主義に操られている	47	7
ハ	日教組は民主主義を守ろうとして失敗している	325	52
ニ	わからない 又は無関心	94	15
ホ	その 他 の 意 見	46	7
	無 記 入 又 は 無 効	43	7

表Ⅱ 本校の組合について			
(1) 本校の組合の印象			
イ	一致団結している過激である	12	2
ロ	一部の過激分子に操られている	16	3
ハ	団結しているが穏健である	150	24
ニ	ばらばらで無力である	6	0.8
ホ	わからない 又は無関心	343	54
ヘ	その他の意見	37	6
	無記入又は無効	66	10

(2)	本校の組合活動の影響について		
イ	教育成果が低下し悪影響を生んでいる	9	1
ロ	教育成果が高まり良い影響を生んでいる	67	11
ハ	良い結果と悪い結果が半ばしている	96	15
ニ	わからない 又は無用心	322	51
ホ	その他の意見	34	5
	無記入又は無効	102	16

表 X	有給休暇を利用する斗争について		
イ	必要とあればどしどし用いたらよい	59	9
ロ	行使してはならない	108	17
ハ	止むをえない手処として認める	331	53
ニ	わからない 又は無関心	25	4
ホ	その他の意見	37	6
	無記入又は無効	70	11

表Ⅱ	私たちの語りかけに応じていたかどうか		
イ	善んで応じる	171	27
ロ	時には応じる	87	14
ハ	る気応じ持はあるが多忙で単せぬ	312	40
ニ	応じる気持はない	0	0,8
ホ	わからない 又は無関心	14	3
ヘ	その他の意見	12	2
	無記入又は無効	30	5

関心

争を支持

う受けとられてゐるかは興味のあるところだが(表Ⅱ①)、四分の一が「固結しているが穩健である」

「と答へ、積極的意見の第一位を占めてはいるが、過半数は充分な判断資料がないためか「わからない」と答へている。この点は、組合活動による影響についても同じで(表Ⅱ②)、「わからない」が51パーセントに達している。「良い影響も悪い影響もある」というのが積極的意見の第一位だが、よい影響としては、三年生の保護者からの意見であるのが、修学旅行に

安同行が實現し、しかも成功あつたことが少からず指摘されおり悪い面では自習時間の増加とより上げられていた。(カゲの同感)しかして、できるだけ生をまきこむまいとする先生方の乍らの努力は以心伝心理解されいるようではあつた。

有給休暇斗争もやむをえない

世界でも例の少いのだが、日本では公務員にストライキ権が認められていないために、公務員の斗争とか有給休暇斗争という奇妙な形態をとっていることは新聞などでおなじみだが、法律に規定された通りに労働することが、そのまま権利を守る斗争になるというのは、それ程平常の労働の法的な過重さが当局の都合によって強制されているということであり

労働基準法に認められた有給休暇をとることが、そのまま斗争になるというのが、平素は休暇もとれない程忙しいということを示しているのかも知れない。その点を理解したか、日教組が有給休暇斗争を採用したのもやむをえない手段として過半数が認めている(表X)

最後に、組合からの語りかけに応じるかどうか(表Ⅱ)では、「応じる」(イ、ロ)が4パーセント、「応じる気持はあるが多少に果せない」が40パーセントで、「応じる気持はない」というのは僅かに1パーセントとなっている。この点については、我々も是非双方がこの際大いに話し合つて理解を深め和やかな学園にしてほしいと思うよかれあしかれ、結果はすべて我々生徒にはね返ってくる。先生と父母が明るい微笑のうちに手をつなぐ愛と知性の環の中で、精一杯勉強したいという訴えを、先生も保護者も率直に受けとめていたゞきたいものである。

